

❖ 動詞が「軽い」「軽くない」とは

英語の辞書（英和、英英）を開いてみると、見出し語となっている動詞の中には、実に記述の長いものがあります。get や take あるいは put のような動詞は、数頁にもわたる数の訳語がついているのがふつうです。

例えば、英和辞典で take を引いてみましょう。数ある訳語の最初のほうを見ると、その意味はかなり具体的でわかりやすく、しかも take に対してみなさんがもつ基本概念とほぼ一致しており、「取る / 持つ」などの日本語にかなり自然に訳すことができるものです。

次のデータは、『ルミナス英和辞典』（研究社）から、見出し語 take の項の最初のあたりを抜き出したものです。

You should **take** an umbrella with you.

傘を持っていったほうがいい。

My little sister **took** my hand when we crossed the street.

通りを渡るとき妹は私の手につかまった。

The mother **took** her child in her arms.

母親はわが子を両腕に抱き締めた。

He **took** Bill for a swim.

彼はビルを泳ぎに連れていった。

「take = 連れていく」と理解し、覚えるには、多少頭の柔らかさが求められるかもしれません。しかし、これらの例や、take の始めのほうに記載されている項目（訳語）は、私たちが take に対してもつ基本的なイメージ「取る」とかなり密接に結

びついていることがわかるでしょう。

しかし、項目を下のほうに見ていくと、どの辞書でも、だんだん take の基本的な意味から外れていく場合が多いように思われます。次はやはり『ルミナス英和辞典』からの引用です。

A nurse **took** my temperature.

看護婦が私の体温を測った。

We all **took** him to be a great scholar.

私たちはみな彼を立派な学者だと思った。

You must **take** us as you find us.

私たちは見たとおりでですのでよろしく。

be **taken** ill

(急に) 病気になる

どうしてこうなるのでしょうか？

その理由は、**take** が「軽い動詞」(light verb) になることができる動詞であるということです。ある動詞が「軽くない」とき、その動詞は、それ自身の基本的な意味、あるいは、その動詞本来の意味をもっています。

しかし、動詞が軽くなるにつれて、それらの基本的な意味は薄れていきます。これは、このような動詞の主な機能が、文中の他の単語を支えることへと変化するからです。それ自身の意味よりも、名詞や前置詞や副詞など、その動詞とともに使われる他の単語の意味のほうが相対的に重要に、つまり「重く」なってくるのです。

言い換えれば、具体的で、私たちのイメージどおりの意味をもつ動詞が、ある特定の文脈でその意味を失った場合、その動